



ばあやのお話

金子みすゞ

ばあやはあれきり話さない、
あのおはなしは、好きなのに。

「もうきいたよ」といつたとき、
ずるぶんさびしい顔してた。

ばあやの瞳には、草山の、
野茨のはなが映ってた。

あのおはなしがなつかしい、
もしも話してくれるなら、
五度も、十度も、おとなしく、
だまつて聞いてみようもの。



『金子みすゞ全集』（JULIA出版局）

表紙の説明

市内小学校で国際交流を図る

英会話教室を開催

7月1日(水)、ながとブルーエン
ジェルスの手が深川小学校を訪
れ、外国語授業を行いました。

これは、児童らに選手と直接触
れ合う機会を提供することで、国
際交流を総合的に推進していくこ
とを目的に実施されたもので、こ
の日、深川小学校5年1組の児童
を対象に外国語授業が行われまし
た。チームからは2人が参加し、
児童らに発音などを教え、交流を
深めました。
ながとブルーエンジェルスは他
の市内小学校でもタグラグビーな
どを通して国際交流を図りまし
た。



▲油谷小学校ではタグラグビーを実施

長門市の DATA

(令和2年7月1日)

人口	33,261人	(-40)
男	15,427人	(-16)
女	17,834人	(-24)
世帯数	15,908世帯	(8)
()内は先月比		
[6月分] 出生	13人	死亡 56人
転入	42人	転出 39人

編集後記

今回の特集では、コロナ禍の
影響で、働き方を見直す動きも
あることから、「ながとで働く」
を特集しました。アンケート
調査の結果を見ると、長門市
の若者には、郷土愛があり、
できれば長門市で働きたいと
思っている人が少なくありま
せん。▼しかし、長門でどん
な働き方ができるかを知らな
い、企業や行政が発信してい
る情報が十分に届いていない
といった理由から、長門では
自分のやりたいことができな
いと感じ、都会に出て行く人
も多いようです。▼長門で働
きたいという若者の希望が、
ひとりでも多く実現できるこ
とを願っています。

